

デマンドレスポンス（上げDR）活用の実証 ～高圧（契約電力500kW以上）分野のお客さま向け需要シフト等の取組み～

2024年3月28日
関西電力株式会社

当社は2023年11月1日から1ヵ月間、特別高圧のお客さまを対象に再生可能エネルギーの出力制御の抑制等に資する取組みとしてデマンドレスポンス（上げDR※）活用の実証を行いました。

※当社があらかじめご案内する日時において、お客さまが負荷設備の稼働時間の変更により他の時間帯から需要をシフトすること、または自家用発電機の出力低減や蓄電設備の充電等により需要創出すること。

[\[2023年10月31日 お知らせ済み\]](#)

前回の実証では、特別高圧のお客さま5社に参加いただき、実証期間中に計9回の上げDRを発動しました。この結果、当社が指定した時間帯での需要シフトや需要創出について、一定の実効性や有効性を確認することができました。

今回の実証では、より多くのお客さま向けに上げDRのサービスを展開できるよう、対象を高圧（契約電力500kW以上）分野まで広げ、期間を3ヶ月（4月1日～6月30日）まで拡大します。

引き続き、ゼロカーボン社会の実現に向けた再エネ導入への貢献とともに、本実証で得られる上げDRの活用成果を踏まえ、魅力あるサービスの創出および様々なサービスやソリューションの提供に取り組んでまいります。

【実証の概要】

実証期間	2024年4月1日（月）～6月30日（日）
対象のお客さま	主に高圧（契約電力500kW以上）分野で、当社の取組みに賛同いただけるお客さま
対象エリア	関西エリアおよび関西以外の一部エリア
内容	当社が指定する対象時間の需要シフトおよび需要創出に応じていただく、指定時型。

以上

添付資料：デマンドレスポンス活用（上げDR）の実証概要

デマンドレスポンス活用（上げDR）の実証概要

～高圧（契約電力500kW以上）分野のお客さま向け需要シフト等の取組み～

2024年3月28日

関西電力株式会社

- 事前に本取組みにご賛同いただいた主に高圧（契約電力500kW以上）分野のお客さまに、当社が指定する対象時間において、**需要シフトおよび需要創出にご協力いただくもの。**

目的	再生可能エネルギーの出力制御の抑制等に向け、昨秋に引き続き、デマンドレスポンス活用の実証を実施する。 また、今後、本実証で得られる活用成果を踏まえ、魅力あるサービスの創出および様々なサービスやソリューションの提供に取り組む。
対象期間	2024年4月1日（月）から2024年6月30日（日）まで
対象のお客さま	主に、高圧（契約電力500kW以上）分野で、当社の取組みに賛同いただけるお客さま
実施内容	蓄電池や蓄熱空調、生産設備などの稼働時間を当社が指定する時間帯に変更することで、他の時間帯からの需要シフトまたは、それら負荷設備の稼働による需要創出を行う。
実施に対する評価内容	実証に参加いただくお客さまの上げDRポテンシャルについて、本スキームの実効性を確認する。
需要シフト・創出に対する評価内容	当社が指定する時間帯の使用電力量と標準的な使用電力量※を比較。 ※お客さまの契約ごとに、過去の電気使用量に基づき、需要創出および需要シフトを実施しない場合の想定電気使用量を標準的な使用電力量として算出

○当社から、上げDRを実施する日および時間帯を事前（前々日等）にお知らせし、お客さまは当該時間帯に、他の時間帯からの需要シフトや蓄電設備への充電等を実施いただく。

【上げDR実施の流れ】

【上げDR対応イメージ】

